



今月のトピックス

津島学び講座 「津島の山車祭を考える」

津島の山車祭が始まって三百年。江戸時代中期より連綿と継承され、津島天王祭とともに毎年多くの人々にぎわっています。今回『津島の山車祭－歴史と祭礼文化－』の著者である黒田剛司氏が津島の山車祭の起源と変遷について、貴重な資料を紹介しながら解説します。

日時 3月15日(土)午後2時より
講師 黒田剛司氏
場所 津島市立図書館 2階大集会室
定員 なし(申し込みは不要です)



いわさき ちひろ ~ 没後40年 ~ 展

(3月下旬~5月中旬開催予定)



「わたしも長い生命をもった、童画家でありたいと思う」

やわらかい水彩絵の具の色彩、印象的な黒い瞳、さわりたくなるような、ふくよかなほっぺ…。誰でも一度は見たことがある絵、それが いわさきちひろ の絵です。この言葉のとおり、ちひろの絵は没後40年経った今でも多くの人を魅了し、その絵本は読み続けられています。

*本の特集コーナーあります。

東日本大震災を忘れない

未曾有の東日本大震災から三年が経とうとしています。まだまだ問題は山積みですが、さらなる復興を心から願います。



『証言記録東日本大震災』NHK東日本大震災プロジェクト/著 NHK出版 369.3シ

『津波の夜に 3・11の記憶』大西暢夫/著 小学館 369.3オ

『福島第一原発の一番長い7日間』酒井直行/著 PHP研究所 726.1サ

『闘う東北』朝日新聞東日本大震災取材班/著 朝日新聞出版 369.3タ

『奇跡の一本松 大津波を乗り越えて』なかだえり/絵・文 汐文社 Eキナ

新 着 図 書

『ベニシアの庭づくり ハーブと暮らす12か月』



ベニシア・スタンリー・スミス / 著 世界文化社 617.6 ス

京都・大原にある築100年の古民家で暮らすイギリス人のベニシアさん。コツコツと手をかけ育て上げてきた自宅の庭には、様々なハーブや花々が色鮮やかに生い茂っています。

ハーブの育て方や使い方、庭づくりの方法、エッセイなど、ハーブに関する情報がたっぷり詰まった一冊です。

自然豊かな大原の景色に囲まれた、美しい庭の写真の数々と共にお楽しみください。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『ノボさん』 伊集院静/著 正岡子規(ノボさん)と夏目漱石の友情を軸に、ノボさんの人生を描く。
- 『作家的時評集』 高村薫/著 2008~2013年までに各紙に掲載された著者の社会時評を収録。
- 『「NO」から始めない生き方』 加藤友朗/著 NYで活躍する日本人医師の「諦めない」発想と決断。
- 『三谷幸喜創作を語る』 三谷幸喜/著 希代のクリエイターがアイデアの創り方、制作の舞台裏を語る。
- 『キャパの十字架』 沢木耕太郎/著編 戦場カメラマン、ロバート・キャパの知られざる真実とは？
- 『ぜんぶわかる最先端医療』 菊地眞/監修 厚生労働省が認めた先進医療を中心に医療情報を収録。
- 『本の花』 平松洋子/著 小説、料理本、写真集まで、エッセイストである著者の書評と対談集。
- 『おつかれっ！毎日パンダ』 高氏貴博 上野動物園へ毎日撮影に通う著者のおもしろパンダ写真集。
- 『卯月の雪のレター・レター』 相沢沙呼/著 少女たちの揺れ動く心理を描く鮎川賞作家の最新短編集。
- 『バカの壁のそのまた向こう』 養老孟司/著 現代人が忘れてしまった自然との関係に斬りこむ。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム(「図書館だより」)など、ほぼ毎日更新しています。検索メニューが豊富になり、より便利になりました！ キーワードは「津島市立図書館」。
<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/toshokan/>

休館日

25日(火)(毎月第4火曜日)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話(0567)25-2145

